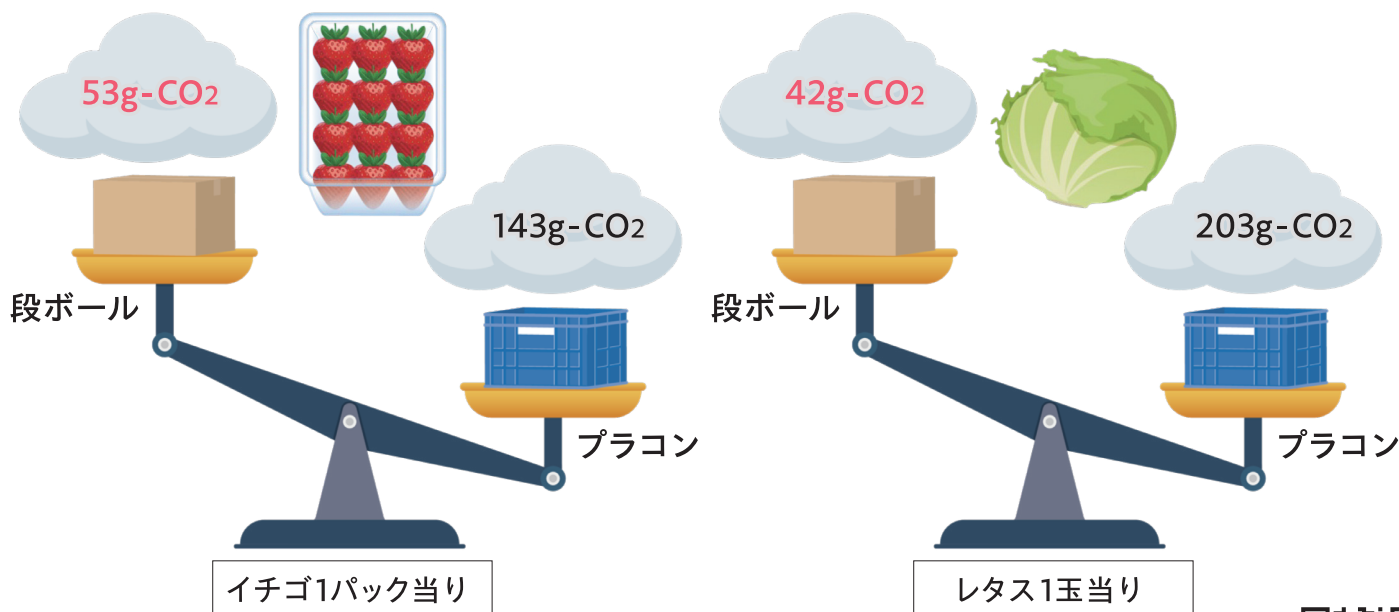


# 青果物流通における輸送容器の環境評価

最新LCA(ライフサイクルアセスメント)に基づく環境負荷

## ■イチゴ・レタス輸送におけるCO2排出量 <ライフサイクルの工程ごとの排出量の合計>

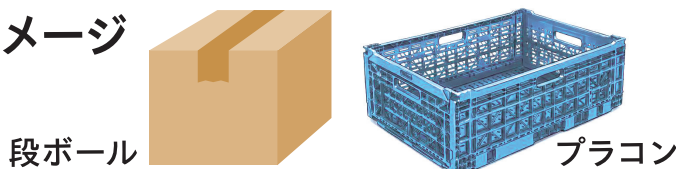


輸送する内容物の単位当り(1パック・1玉)の比較においても、**段ボールはプラコンよりCO2排出量が少ない試算結果**となりました。

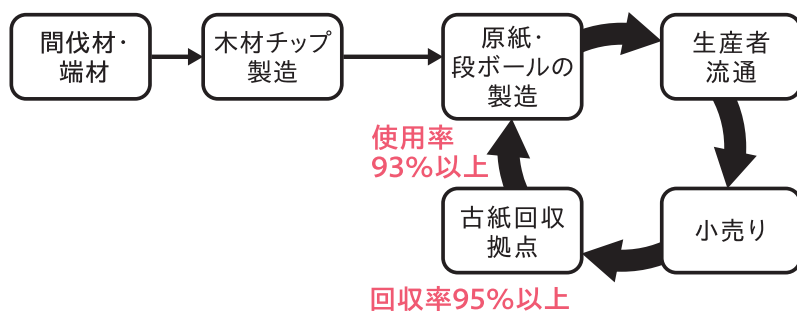


詳細はこちら

## ■容器のライフサイクルイメージ

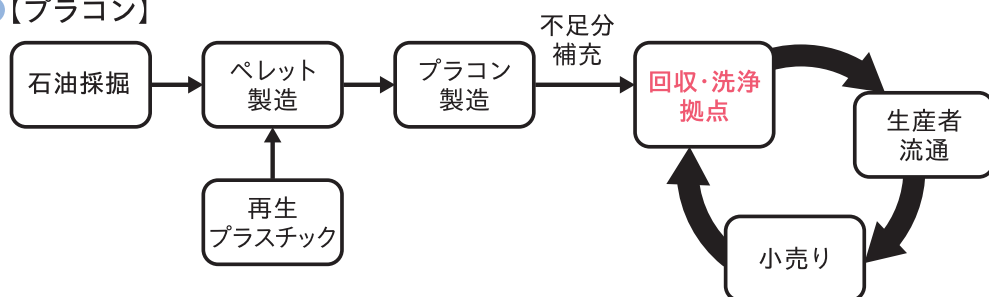


### ●【段ボール】



- 95%以上の高い回収率で資源が循環。
- バイオマス由来でカーボンニュートラルに貢献。
- 地産地消の供給網により輸送時のCO2を抑制。

### ●【プラコン】



- 限られた供給網による長距離の配送、回収・返送によるCO2の排出。
- 洗浄工程での多量な水とエネルギー消費。
- 原料は枯渇資源である石油由来。

## ■ 環境面における段ボールの優位性

### 再生可能な非枯渇資源

段ボールの主原料は、光合成により光と水とCO<sub>2</sub>があれば持続して生産される木材が由来となっており、枯渇することのない資源を使用しています。

#### 😊 段ボール

木材由来であり光合成により持続的に生産されるため枯渇しません。

#### 😞 プラコン

化石由来のため採掘し続けると枯渇してしまいます。

### 生分解性

段ボールは、日本国内では確立されたリサイクルシステムにより、約95%が回収されリサイクルされていますが、回収されなかった場合でも埋立処分により生分解され土壌へ還元されます。

#### 😊 段ボール

埋め立てられても土に戻ります。

#### 😞 プラコン

埋め立てられた場合、生分解しません。

### カーボンニュートラル

段ボールは、焼却処分された場合においても、バイオマス由来の炭素を含むことから、カーボンニュートラルな素材として位置付けられています。

#### 😊 段ボール

焼却してもカーボンニュートラルな素材であるためCO<sub>2</sub>排出量はゼロとなります。

#### 😞 プラコン

焼却処分時にはCO<sub>2</sub>が排出されます。

## ■ 機能面における段ボールの優位性

### クリーン



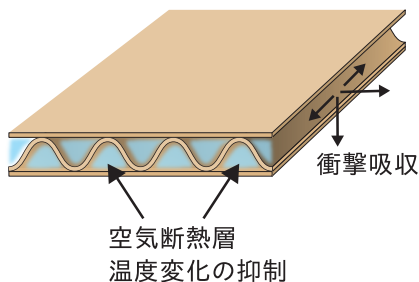
#### 【クリーンな運用】

•ワンウェイのため、前荷物の残留物による汚染のリスクなし。

#### 【異物混入防止】

•密封が可能で、配送中の害虫や埃の侵入をシャットアウト。

### 保護・品質保持



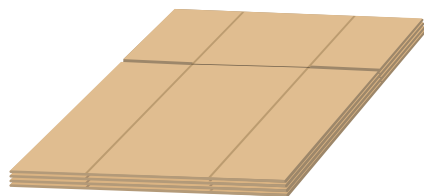
#### 【衝撃吸収】

•段ボール特有のフルート構造がクッションとなり、傷みやすい青果物を振動、衝撃から保護。

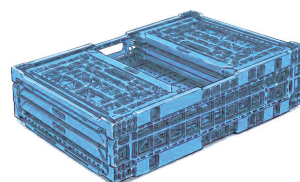
#### 【鮮度保持(断熱)】

•フルート構造の空気層が断熱材となり、密封した際に外気の温度変化による商品への影響を低減。

### 保管・積載効率



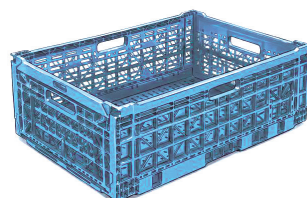
- 使用前は**完全フラット**で保管スペースを最小化。
- 軽量**なため、トラックの**最大積載量**を**青果物の重量そのものに有効活用**可能。
- サイズを青果物それぞれの**適正入数**に合わせられるため、**高効率な保管や流通**が可能。



### ブランディング



- 高品質な印刷により、産地の情報や**ブランドメッセージ**を消費者にダイレクトに**伝達**。



全国段ボール工業組合連合会